

# 第16回保団連医療研究集会

メインテーマ

## 「ともに築こう新世紀の医療と福祉」

記念講演(一般公開) 講師／柳田邦男

「21世紀は人間を幸福にするか—専門化社会といのちの危機」

第一分科会B 在宅医療・介護

日時:2001年 9月22日(土)~23日(日)

会場:北海道 ロイトン札幌

“小児歯科専門”を皮切りに“ファミリーデンティスト”を目指した頃、小児歯科学会では“小児の洪水に如何に処すか！?”がメインテーマになる時代でした。

私鉄沿線の駅前のテナントビルには“children only”と書かれたリングの形のプラスチックプレートが天井から吊るされ、扉には医院名が掲げられ“口込み”だけでも随分遠方からの親子連れで“ヒシメイテ”いました。

やがて“小児歯科”“矯正歯科”の標榜が許され新規開業の大半がそれを標榜するようになり、客足が減ってきて家族を受け入れる余裕が出るようになっていきました。

その後“乳歯冠”“乳幼児加算”が導入され現在に至っています。

駅前ビルの診察室はお向かいの歯科医院と連携していましたが、やがて閉院しそれを居抜きで譲り受けることになり、妻が“成人歯科室”を受け持ちました。

廊下を隔てた2診療室では動線が悪いので、その診療室より10分程の自宅のガレージを改造し4台のチェアで“ファミリーデンティスト”をいよいよスタートさせることになり、小児・矯正・歯科一般を標榜しました。

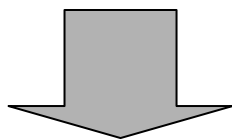
その後田園都市沿線の住宅開発が進み東京の住民の移動が起こり、在来路線の変更と他院でも小児の診療を受け入れるようになり、住宅街の診療室では“地の利”がなくなり、移転することになりました。それは私の意欲において、人の多いところに進出したかったのです。

現在は“ニコタマ、フタコ”呼ばれ親しまれている二子玉川の繁華街と住宅街に挟まれた商店街に移転し“指定居宅介護支援事業所”となり“赤ちゃんからお年寄り”までの歯科医院にやっとなりました。

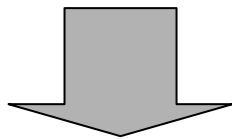
20世紀の歯科医療は硬組織の切削機械、器材とその動力が足踏みから電力に変わることと共に発展してきました。

[足踏みエンジン]が[電気エンジン]に変わり、やがて高速切削機器としての[オイルタービン]、[エアタービン]が登場すると、人為的な歯牙の破壊が繰り返されるようになり、今や反省が求められ[ミニマム・トリートメント]が提唱されるようになってきています。

『歯科医の切削はウ蝕の進行より早い！！』



『ウ蝕は治すのではなく、生活習慣を変える手助けを！！』



『赤ちゃんがお腹にいる頃からのお付き合い』

口腔疾患は“母子感染”であり母親の“口腔衛生思想”こそ重要

21世紀の歯科医療は“かかりつけ歯科医”で

☆赤ちゃんからお年寄りまでのリコール(継続管理)

“一口腔単位” “ファミリー単位” の診療を心掛け “随時受付” “計画診療” は開業当初より、マル模、写真、口腔衛生指導等から始められ、リコールはがきも当然行っていました(診療最終日に住所記載の上、3・6ヶ月定診時と誕生月の月初に郵送)。

因みに2001年1月より8月までに患者さんの年齢階層別の構成比と2001年8、9月の単月の構成比とはほぼ同じでした。

◎2007年をピークにして人口は減少に転じ、要介護高齢者は280万人(総人口の13%)で、健康な高齢者は1920万人ほどになる予測があります。

◎高齢社会における医療はとかく「訪問歯科診療」にのみスポットが当てられがちですが “口腔機能の保持・増進・育成” が大切で、それには各年齢階層ごとの “リコール” が不可欠だと考えています。

## “歯科治療”

は目的でなく手段に過ぎません。

## “歯科医療の目標”

何時でも、 “何処でも” “誰(障害者を含む)でも” “上質の医療” が受けられ “口腔機能(食べる、喋る、笑う)” を保持・増進・育成することです。

その目標達成の為に “理解” と “認識” と “協力” を求めています。

ライフサイクルに合わせた口腔保健に携わって行きたいと思えます。

### 私が最も強調することは

- ① “磨いていること” と “磨けていること” とは違うこと。
- ② 磨き方を教えるのではなく “磨け方” を知って貰うこと。
- ③ 染め出し液と手カガミそれに加えて強電解性水(強酸性水・アルカリ水)を使用すること。
- ④ 誕生日健診を受けること。(自助努力と専門的管理)

[8020運動]の実現は夫々の年齢階層の前段階、又その前段階からの継続的な管理があって果たせるものです。

<p>第1段階 0才～未 就学児</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・妊産婦指導</li><li>・児、産、歯科との連携(耳鼻咽喉科:口蓋裂、舌小帯異常)</li><li>・口腔機能の発育、成長(予防矯正:悪習癖、反対咬合、先欠)</li><li>・ミニマム・トリートメント</li><li>・口腔衛生指導</li><li>・定期歯科検診</li></ul>
<p>第2段階 6才～15 才</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミニマム・トリートメント</li><li>・健全永久歯列への咬合誘導</li><li>・歯列矯正</li><li>・口腔衛生指導(ウ蝕、歯周病予防)</li><li>・定期歯科検診</li></ul>

第3段階 16～39才	<ul style="list-style-type: none"><li>・成人矯正(審美、咬合再構築)</li><li>・口腔衛生指導</li><li>・定期検診</li><li>・ミニマム・トリートメント</li></ul>
第4段階 40～64才	<ul style="list-style-type: none"><li>・口腔機能の維持、増進、育成(口腔環境の維持)</li><li>・咬合再構築(審美、インプラント、etc)</li><li>・ミニマム・トリートメント</li></ul>
第5段階 65～74才 75～84才 85才以上	<ul style="list-style-type: none"><li>・口腔機能の維持(口腔環境の維持)</li><li>・ADL、QOLを視野に入れた管理</li><li>・リハビリテーション</li><li>・口腔保健と他科との連携</li><li>・ミニマム・トリートメント</li></ul>

☆中高年層の脳卒中、脳血管障害等の後遺症に“摂食嚥下機能”のリハビリも視野に入れ、只今勉強中です。

☆訪問歯科診療も今のところ自分の診て来た患者さんのみを行っております。

# 当歯科医院の長期継続管理

模型箱

カルテ



エンジェル ライブラリー

院内掲示システム

# 当歯科医院の機器

当医院では最新機器を導入し、患者さんへの負担が軽減することに努めています。



デジタル口腔内カメラ



位相差顕微鏡



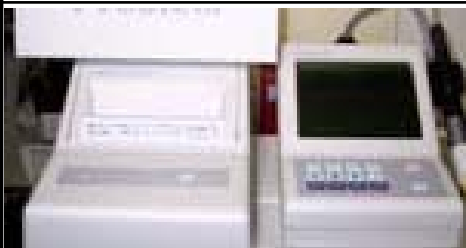
ウ蝕罹患性テスト



ウ蝕検査器



金属アレルギー検査器



デジタル歯周病検査器



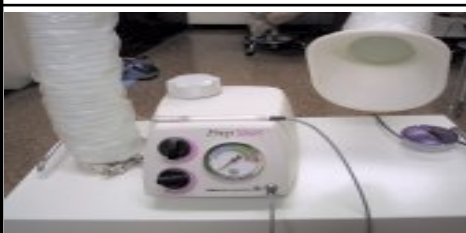
根管長測定器



イオン導入器



光重合器



エアアブレーション



磁気照射器



笑気吸入鎮静器



顎関節規格撮影器

# 携帯型歯科用ユニット



# 訪問診療のための設備

# 持ち運び簡易診療台



# ミストジェネレーター



# 専用往診車





# 電子カルテ2(イメージ)

	備考	う蝕度	hys	C	E		P	外	補	保	審	矯	臭	白	ブランク	EPP	出血	歯石	腫脹	排膿	動揺	圧入	不良	付肉	修復	支台	固定	可撤	× 半可	× イン	×	×	×	×	×	×		
					pul	pel																															レーザー治療	
18																																						
17																																						
16																																						
15	1E																																					
14	1D																																					
13	1C																																					
12	1B																																					
11	1A																																					
21	2A																																					
22	2B																																					
23	2C																																					
24	2D																																					
25	2E																																					
26																																						
27																																						
28																																						
38																																						
37																																						
36																																						
35	3E																																					
34	3D																																					
33	3C																																					
32	3B																																					
31	3A																																					
41	4A																																					
42	4B																																					
43	4C																																					
44	4D																																					
45	4E																																					
46																																						
47																																						
48																																						
咬合状態															悪習癖																							
軟組異常															摂食嚥下																							

今回ご紹介した内容は

<http://www.dental-shuttle.co.jp>

デンタル・シャトルのホームページでも取り上げています。

